



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2023年2月5日

No. 105

いつも喜んでいなさい。
絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18節 a・新共同訳



宣教 40 年の旅～100 %感謝して

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18節 a



新共同訳聖書では「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである」という語順になっていますが、文語訳聖書では「幸いなるかな、心の貧しき者。天国はその人のものなり」となっています。実は、原文では文語訳聖書が示しているように、「幸い」が文頭に来ているのです。しかもギリシャ語辞典によると、この「幸い」と訳された言葉が、第一に意味しているのは「幸い」ではなく「祝福」としているのです。また「天の国」の「国」と訳されている言葉は、実際には「支配」という意味になりますから、本来「天の国」とは、「神の支配」を意味していることがわかります。私たち人間の目に「貧しさ」も「悲しさ」も、否定的な状態に思われるのですが、主イエスが教えているのは、たとえ「暗闇に住む」ようであったとしても、その私たちを見て、神が祝福し光となってくださる、このことの方が圧倒的に良く、私たちの否定が否定とならないほどの肯定なのだということなのです。

さて、第二の朗読でお読みいただいた、コリントの信徒への手紙一 1 章 18 節に次のようにありました。「十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。」「滅んでいく者」とは、自分に理由を見いだそうとする人々のことでしょう。いろいろなものが足りない不安になり、嘆く私たちの姿になります。自分の手の中のもの、自分の経験や知識、そのようなものに理由を見いだそうとする限り、十字架の言葉は力であるとは到底思えないのです。一方「救われる者」とは、神に理由を見いだす人々にちがいません。自分の手に十分になくとも、それでもこの私

を祝福し生かしてくださる神に委ねる時、十字架の言葉は力となって働くのです。

さらにパウロは 30 節で、次のように言っています。「聖書略」キリストが私たちにとって「神の知恵、義、聖、贖い」となられたのですが、決して私たちの信仰が深いからとも、人間的にふさわしいからとも言われず、ただ「キリストに結ばれ」と、私たちの人間性も信仰も入る余地がないことが示されています。そしてこの言葉は、第一の朗読でお読みいただいた、ミカ書 6 章 8 節を理解する鍵となっているのではないかと思います。次のようにありました。「聖書略」確かに旧約聖書ですから、人が行うべきことを告げているわけですが、ここで新約聖書的に「キリストに結ばれ」と読むなら、いずれも「キリストが私たちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられた」と、私たちが行う以前に、キリストが私たちにとってそのようになってくださったことを知らされるのです。「神と共に歩むこと」とは、旧約的には、律法を守って生きることになるでしょう。しかし新約的にとらえ直すなら、それはキリストと共に歩むことであり、キリストがされたように隣人を愛し、隣人と共に歩むことにちがいません。礼拝後、教会総会が開催されますが、今年の宣教計画では、この「隣人と共に歩む」ことを具体的に示しています。私たち教会の交わりが、キリストに結ばれて、神と共に、キリストと共に、隣人と共に歩むようになるためです。その私たちを主は見てくださり、また私たちを通して、すべての人々に、主の目が向けられ、あらゆる人々が神の祝福のうちに生きるようになるためなのです。

(顕現後第 4 主日)

2023 年度宣教計画 宣教 40 年の旅～100 %感謝して

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16-18 節 a

1 月 29 日、3 年ぶりに日曜日の午後、教会総会が開催されました。過去 2 年は、コロナ禍の中で、礼拝がグループに分かれてとなっていましたので、一同が日曜日に集まることは難しく、土曜日の開催でした。久しぶりに通常の日程での総会開催を主に感謝します。

●教会の目指す方向

定年教師の清重尚弘先生が贈呈して下さった、先生のご友人の坂本雄三郎牧師の著書『実践教会役員』に、「教会活動は、『目指す方向』が最も大切で、それは教会の『使命』『目標』『行動指針』の形で示すことができます。」とあります。教会活動は、私たち教会の使命は何で、何を目標としているのか、私たち教会の活動は、何に基づいてされるのか、を押さえておく必要があると学びました。

2022 年度役員会では、同書で紹介されていた、アンケート（デルファイ法）によって、皆さんの声を集め（第 1 回）、集められた声を皆さんに評価していただき（第 2、3 回）、その結果を踏まえ、上記の「教会の目指す方向」を設定しました。それは次の「使命、目標、行動指針」によって示されます。

使命：「この教会は、キリストの命に従って、信仰の交わりをなし、福音を宣べ伝え、みことばを教え、愛による奉仕をなし、これらのことによって神に仕えることを目的とする。」（神に仕えることが、私たち教会の使命）
目標：①礼拝に集められる喜びに感謝する群れとなる。②地域に仕える教会として成長することを目指し、可能なことから具体的な行動を起こす。③5 か年、10 か年宣教計画立案（将来にも責任を持つ群れとして、共に）
行動指針：①礼拝とみ言葉を大切にす

る教会②キリストにあって人との繋がりを大切にする教会。

●2023 年度宣教計画

今年度の宣教計画は、前記「教会の目指す方向」に基づいて、立案されました。いくつか例をあげてみましょう。「礼拝を中心とした交わり」は、使命の「信仰の交わり」並びに、行動指針の①に対応しています。「多様な交わりを大切にする」は、行動指針の②に対応しているでしょう。「地域への支援」は使命の「愛による奉仕」並びに目標の②、行動指針の②にそれぞれ対応していると言えるでしょう。

「教会が目指す方向」を具体化したことによって、私たち藤が丘教会が何をすべきかを、明確にすることが出来るようになりました。今後、どのような計画を立て、また活動を展開する時にも、この方向性に照らし合わせていくなれば、大きなブレはなくなり、成長を妨げるものが少なくなることでしょう。今年目標の一つに、「5 か年、10 か年宣教計画立案」を掲げています。使命、目標、行動指針を、ご一緒に確認しながら、この宣教 40 年の一年を共に歩んでまいりましょう。

●宣教 40 年

歴代の教職を迎えての礼拝、40 年の歩みを共にされた、信徒の皆さんを招いての礼拝を計画しています。皆で集まりましょう。喜びと感謝を共にいたしましょう。この他にも具体的に考えられているのは、地域の方々（子どもたち、子育て世代、高齢者）への奉仕です。具体的な行動を起こせるように、祈りつつ準備を整えてまいりましょう。（佐藤）

●女性会だより

1月15日 20名参加

1 聖書の学び

マタイによる福音書 3章13節～17節

2 女性会総会

- ①今後の日程について
- ②毎月の会費について
- ③お仕事会について
- ④物品販売について（ウクライナ支援）
- ⑤2023年度の女性会について
役員改選について
- ⑥次回例会 2月19日

●教会の動向



2023年最初の礼拝は、1月1日（主の命名）、この日から、通常の礼拝を再開いたしました。23名の出席でした。

8日の礼拝（主の洗礼）では、聖餐式が執り行われました。久しぶりにグループ分けではない礼拝での聖餐式でしたが、混乱もなく、主の恵みをいただくことが出来ました。出席は52名。CSではトーンチャイムの体験会がありました。礼拝後、定例役員会が開かれました。教会総会の準備、宣教計画の具体化等について協議されました。9日には、会計監査が行われました。14日に、総会資料の製本作業をいたしました。

15日、CSではトーンチャイム体験会と礼拝がありました。主日礼拝後、発送作業、女性会総会がありました。18日、聖研がありました。

22日、トーンチャイム体験会がありました。主日礼拝後、CS教師会がありました。

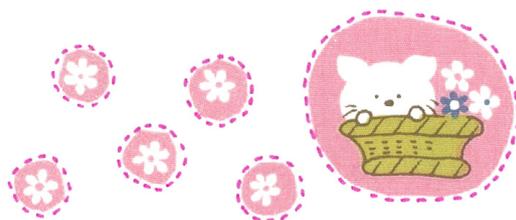
29日の礼拝後、総会が開催されました。総会では、2022年度の諸報告が承認され、2023年度宣教計画案、行事計画案、予算案が

今月、受洗記念日を 迎えた皆さん

8日 名〇匡〇兄

28日 安〇〇子姉

おめでとうございます。

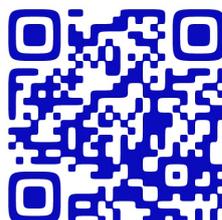


「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」テサロニケの信徒への手紙 - 5章16-18節 a

藤が丘教会ウェブサイト <https://www.jclc-fujigaoka.org/>
フェイスブックで礼拝のライブ中継をしています。（毎日曜日午前10時半）

それぞれ承認されました。また、役員改選の結果、2023年度役員に、次の方々が選出されました。田〇〇夫さん、〇田〇一郎さん、江〇〇子さん、〇野〇之さん、〇藤真〇さん、〇木〇子さん、永〇〇子さん、以上。新役員の就任式は、2月5日の礼拝にて、執り行われます。

〇野〇之さんに、玄関脇の掲示板を改修していただき、綺麗になりました。田村忠夫さんによるこれまでの献花の写真（+聖句）と共に、教会案内を掲示しています。献花の写真は、季節感が大事ですので、有志に毎週取り替えていただくことになりました。すべてに感謝いたします。宣教40年の年を、皆さんと祈りを合わせ、喜びと感謝のうちに、歩んでまいりたいと願います。（佐藤）



👉スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。